TOYO GREEN

The Andersons

資　材
Materials

Humic 12 DG

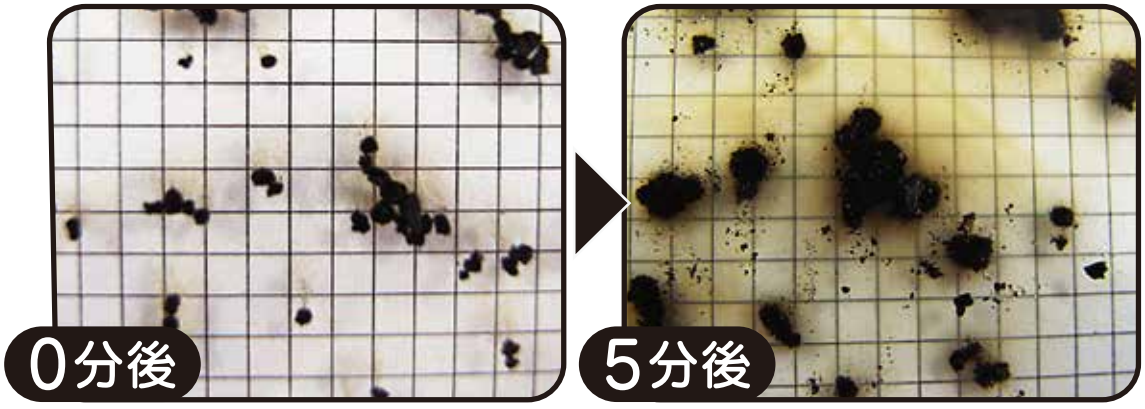
分散性をもたせた粒状フミン酸

ヒューミックDG

フミン酸資材に分散性技術を導入

撒きやすい　混合しやすい

Humic DG は、粒径が均一で、不純物を含まない。



写真：室温26℃(外気温25.5℃)、水温23.6℃での社内試験（1マス＝2mm）

Humic DG は、散水により土壌に素早く分散。

世代を超えた見えない技術

DGテクノロジー　粒状フミン酸資材

Humic DG

SGN75（粒径 0.75mm）
荷姿: 20kgポリ袋入り

TOYO GREEN

標準仕様:フミン酸70%＋フミン酸前駆物質10%＝80%　水分含量（最大）9%

●特長・適用場面

分散性粒状フミン酸、Humic DG が、施肥効率をアップ・団粒構造を作り・養分吸収を促進！

微生物を活性化するHumic DG

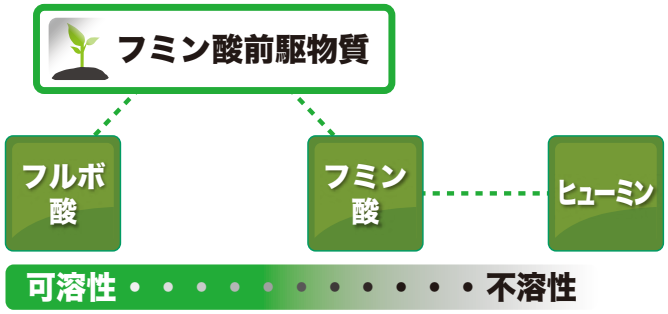
Humic DGは、植物由来のフミン酸前駆物質と鉱物由来のフミン酸塩を合わせて分散性粒状フミン酸に仕上げました。
2つの炭素源がHumic DGを独自なものにしています。

フミン酸前駆物質は、Humic DGの中でも水に非常になじみやすく、水とともに土壌に速やかに染み込みます。
土壌中の生化学反応を通じてフミン酸前駆物質はフルボ酸とフミン酸に変化します。

フルボ酸は、根によって吸収され、植物ホルモンのように植物を刺激して新陳代謝を助けます。

フミン酸は、土壌の陽イオン交換容量（CEC）を高めるとともに、栄養素のキレート化を助け、土壌微生物の働きを活発化します。

ヒューミンは、炭素を多く含む不溶性の巨大分子群です。
土壌に長期間存在して栄養素を保持します。



確認されているフミン酸の効果

- 土壌炭素を増加させる
- 植物の健全な生育を促進する
- 発芽促進及び種子の生存を助ける
- 植物栄養素及び微量要素をキレート化し、長期にわたり供給
- 陽イオン交換容量（CEC）をアップ
- 土壌団粒構造を促進し、通気性および透水性を向上
- 善玉微生物を増加させる

●使用方法

使用対象	標準使用量	散布方法
芝　　草	5～　30g/㎡	2000SR ロータリースプレッダー などを用いて散布
樹　　木	60～230g/本	
オーナメンタル及び花壇	5～　10g/㎡	
鉢植え用土	1.5～6.0kg/㎥	土壌混合

●取り扱い上の注意

■使用上の注意

- 葉が乾いた状態で散布し、散布後3～4mmの散水をしてください。
- 25℃以上のときには散布量を少なめにし、散布後ただちに散水してください。
- 清潔で乾燥した散布機を使用してください。余った肥料を散布機の中に残しておかないでください。
- 使用する散布機の取扱説明書をよくご確認の上、ご使用ください。

■保管上の注意

- 清潔で乾燥したところに保管してください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。
- 施錠して保管してください。
- 開封後は袋の上部を折り曲げ、密封してください。

■取り扱い上の注意

- 製品についているラベルをよくお読みいただいた上で、ご使用ください。

TOYO GREEN 東洋グリーン株式会社
〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町 2-33-8

東京支店　名古屋支店　大阪支店　九州支店
土浦営業所　千葉営業所　沖縄営業所　柏技術センター

https://www.toyo-green.com

2024-7-0000